

令和5年産ビール大麦の生育について

令和5(2023)年2月13日
那須農業振興事務所

【生育概況】

- 2月1日時点では、茎数 416~1,015 本/m²、葉齢 5.5~7.1
- R4年産と比較して、「茎数は少なめ」、「葉齢は同等」
- 茎数が少ないほ場では、3月中までに麦踏みを行い、分けつの発生を促進させる

生育調査結果

調査地点	令和5年産			令和4年産(参考)		
	播種日	2/1調査		播種日	2/1調査	
		茎数 (本/m ²)	葉齢		茎数 (本/m ²)	葉齢
那須塩原市二区町	11/3	1,015	7.1	11/3	1,151	6.8
大田原市河原	11/3	705	6.4	11/3	966	6.5
大田原市湯津上	11/8	624	6.6	11/8	867	6.0
大田原市荻野目	11/11	416	5.5	11/5	741	6.1

【今後の管理】

1) 麦踏み

茎立期*直前の麦踏みは、「穂揃いを良くする」、「成熟ムラを少なくする」、「倒伏しにくい麦にする」等の効果が得られるため重要です。

なお、降雨後などほ場に水分が多いと、土を固めてしまい、麦の生育に悪影響を及ぼすので、靴に土がつかない程度乾燥した状態で実施しましょう。

※茎立期：幼穂長が2cm程度の時期であり、平年では3月15~20日頃



茎立期頃の麦の様子



幼穂長の測定

2) 排水対策

ほ場に溜まった雨水を早急に排出するために、明きよが土や泥等で埋まっていないか、排水溝が埋まっていないか等、定期的に点検しましょう。

排水対策の実施により、降雨・降雪後のほ場の乾燥を促し、計画的な麦踏みが可能になります。



【参考】 気象概況



【参考】 気象庁1か月予報（令和5年2月9日発表）

今後の1か月の予報では、気温は低い確率 40%、降水量は多い確率 30%

気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%)			
気温	関東甲信地方	向こう1か月 02/11~03/10	40 (Low) 40 (Normal) 20 (High)
		1週目 02/11~02/17	20 (Low) 50 (Normal) 30 (High)
		2週目 02/18~02/24	30 (Low) 50 (Normal) 20 (High)
		3~4週目 02/25~03/10	40 (Low) 40 (Normal) 20 (High)
降水量	関東甲信地方	向こう1か月 02/11~03/10	40 (Low) 30 (Normal) 30 (High)
		日照時間	向こう1か月 02/11~03/10

■ 低い(少ない) ■ 平常並 ■ 高い(多い)